

令和7年度入学

学 生 募 集 要 項

学校推薦型選抜



公立大学法人

宮城大学
MIYAGI UNIVERSITY

目 次

1	宮城大学のアドミッション・ポリシー（入学者受け入れ方針）	1
2	学類配属について	4
3	学校推薦型選抜の概要	5
4	入学定員と募集人員	5
5	出願資格	5
6	推薦人数	6
7	出願手続	6
8	試験日時・選抜方法等	11
9	合格発表	13
10	入学手続・初年度納付金等	13
11	授業料等の減免・奨学金等	15
12	特別の配慮を要する入学志願者の事前相談	17
13	試験成績の開示	17
14	試験成績等の個人情報について	17
15	試験会場案内	18

社会情勢等によりやむを得ず選抜方法や選抜日程に変更が生じる場合は、
速やかに本学ウェブサイトにて公表いたします。

1 宮城大学のアドミSSION・ポリシー（入学者受け入れ方針）

宮城大学

【大学教育を通じてどのような力を発展・向上させるのか】

宮城大学は、地域社会の発展に主体的に貢献できる資質と能力を持った人間性豊かな人材育成を目指しています。このような人材は、高い人間力を備え、広く深く学び続ける力を基盤として、専門的な知識や技能を身につけ、将来にわたって地域社会の進歩に柔軟に対応し、それに貢献できる能力を備えた人材であると考えています。

【入学者に求める能力は何か】

宮城大学が教育目標で掲げる人材を育成するためには、高等学校までの「偏りなく幅広く、継続した学習」の内容をしっかりと身につけていることが望まれます。特に、本学は科学技術による実社会への貢献を目指した「高度な実学」を理念として掲げていますので、理数科目の積極的な習得が望まれます。また、「グローバルな視点」を持つという理念も掲げていますので、コミュニケーション・ツールとしての基礎的な英語力の習得が望まれます。

【高等学校段階までに培ってきたどのような能力をどのように評価するのか】

宮城大学が求める学生を選抜するため、学群・学類ごとに選抜試験を実施します。詳細は各学群のアドミSSION・ポリシーを参照してください。

看護学群

【大学教育を通じてどのような力を発展・向上させるのか】

看護学群は、生命の尊厳を基盤とする豊かな人間力を備えて、科学的思考とマネジメント能力を持ち、ヒューマンケアを中核とした創造的な看護を展開し、地域の人々、多分野・異文化の人々と協働して学際的に活躍できる人材育成を目指しています。

このような人材は、以下のような資質や能力を備えていると考えます。

- (1) 人間に対する深い洞察と倫理観に基づく人間関係を形成する能力
- (2) 人間の生命と活動に関する事象を客観的に捉え、論理的に探求する科学的思考力
- (3) 対象者のニーズに即したケアを創造的に実践する創造的実践力
- (4) 人と組織の中で、主体的にヘルスケアシステムを形成する基礎的なマネジメント能力
- (5) 関連分野と協働し、国内外の保健医療福祉の課題に貢献できる基礎的な学際性・国際性

【入学者に求める能力は何か】

看護学群では、次のような意欲・資質を併せ持つ学生を求めています。

- (1) 人や地域社会、看護に関心を持っている人
- (2) 人の喜び、苦しみを分かち合える温かい思いやりを持ち、人との関係を大切にできる人
- (3) 科学的探究心を持ち、主体的かつ柔軟な発想で取り組むことができる人
- (4) 国の内外を問わず、看護学を通して地域社会に貢献しようと思っている人

【高等学校段階までに培ってきたどのような能力をどのように評価するのか】

看護学群の選抜試験では、以下の評価を行います。

- (1) 一般選抜では、大学入学共通テストの6教科8科目以上で高等学校までの学習成果を問うほか、個別学力検査の外国語、論説（※1）、面接（※2）の試験により、志望分野に必要な学力や資質、主体性等を評価します。

- (2) 学校推薦型選抜では、大学入学共通テストの6教科7科目以上で高等学校までの学習成果を問うほか、調査書、推薦書、自己申告書等の出願書類、面接(※3)によって、志望する学群での学修に対する意欲、資質などを評価します。
- (3) 総合型選抜では、調査書、自己申告書等の出願書類、レクチャー①・レクチャーレポートによる第1次選考、レクチャー②・グループワーク・ふりかえりレポート、面接(口頭試問を含む。)(※4)による第2次選考によって、高等学校までの学習成果や課題発見・解決能力、志望する学類での学修に対する意欲、資質などを評価します。
- (4) 帰国生徒選抜、社会人選抜、私費外国人留学生入試では、出願書類(本学が指定する英語の外部検定試験の公式スコアを含む。)、及び面接により、学力、意欲、資質などを評価します。私費外国人留学生入試では、これに加えて日本留学試験により志望分野に必要な学力を評価します。

事業構想学群

【大学教育を通じてどのような力を発展・向上させるのか】

事業構想学群では、現代社会の諸課題を多角的・グローバルな視点で論理的に捉え、その課題解決に向けた事業を実行可能かつ持続可能なものとして構築する能力を身につけるとともに、地域資源の活用や新たな価値創造を志向し、産業、行政、社会の各分野で先導的役割を担える人材の育成を目指しています。

このような人材は、以下のような資質や能力を備えていると考えます。

- (1) 社会の中で他者を理解し、社会の発展に主体的に貢献する自立した人間として必要な総合力
- (2) 人間や社会に関する事象を客観的に捉え、論理的に探求する能力
- (3) 学群に共通する基礎的な知識・技術と専攻した学類の専門知識・技術
- (4) 地域社会や企業での体験や協働を通じ、自ら課題を発見し、主体的に行動する実践力
- (5) 地域や世界の歴史、文化を学ぶとともに、交流・協働を通して地域やグローバルで活動する能力

【入学者に求める能力は何か】

事業構想学群では、次のような意欲・資質を併せ持つ学生を求めています。

- (1) 地域社会の動向や時代の流れに興味を抱き、自ら問題を発掘し、論理的に考え、表現することを学ぶための基礎的な学力を有する人
- (2) 大学での勉学に対する強い意欲を持ち、高度な知識とスキルを身につけることによって、具体的な行動をともなって地域社会の課題を主体的に解決し、貢献することを目指す人
- (3) 事業構想(プロジェクト・デザイン)の分野でイノベーションをデザインすることにより、来るべき社会における新たな展開に貢献することを目指す人

加えて、各学類では、次のような意欲・資質を併せ持つ学生を求めています。

<事業プランニング学類>

新たな発想に基づき、実行可能な計画をまとめ上げることに強い関心を持ち、その際に必要となる情報・データの読解、論理的な思考や表現の方法を学ぶための基礎学力を有する人

<地域創生学類>

多様化・複雑化する地域社会の諸問題に対して強い関心を持ち、その課題解決に向けて思考・分析を行うとともに、地域活性化を目指すまちづくりや産業育成、それを動かす人・組織のデザイン、そして持続可能な環境に関する理論と技術を学ぶための基礎学力を有する人

<価値創造デザイン学類>

人間感性や地域風土に根ざしたデザイン原理や、人々の生活の場である建築・街・インテリアなどの空間や情報コミュニケーションをデザインする理論と技術を学ぶための基礎学力を有する人

【高等学校段階までに培ってきたどのような能力をどのように評価するのか】

事業構想学群の選抜試験では、以下の評価を行います。

- (1) 一般選抜では、大学入学共通テストの6教科8科目以上で高等学校までの学習成果を問うほか、個別学力検査の外国語、数学、論説（※1）の試験により、志望分野に必要な学力や資質を評価します。また、活動実績報告書により主体性等を評価します。
- (2) 学校推薦型選抜では、大学入学共通テストの6教科7科目以上で高等学校までの学習成果を問うほか、調査書、推薦書、自己申告書等の出願書類、面接（※3）によって、志望する学群での学修に対する意欲、資質などを評価します。
- (3) 総合型選抜では、調査書、自己申告書等の出願書類、レクチャー①・レクチャーレポートによる第1次選考、レクチャー②・グループワーク・ふりかえりレポート、面接（口頭試問を含む。）（※4）による第2次選考によって、高等学校までの学習成果や課題発見・解決能力、志望する学類での学修に対する意欲、資質などを評価します。
- (4) 帰国生徒選抜、社会人選抜、私費外国人留学生入試では、出願書類（本学が指定する英語の外部検定試験の公式スコアを含む。）及び面接により、学力、意欲、資質などを評価します。私費外国人留学生入試では、これに加えて日本留学試験により志望分野に必要な学力を評価します。

食産業学群

【大学教育を通じてどのような力を発展・向上させるのか】

食産業学群では、食につながる生物生産とその供給から食品製造・流通・消費に至るまでのフードシステムについて幅広い専門的知識と技術を持ち、食産業全体を理解し、地域から世界まであらゆるレベルで食の未来を開拓できる意欲と能力を有する人材の育成を目指しています。

このような人材は、以下のような資質や能力を備えていると考えます。

- (1) 食産業に関する幅広い専門的知識と技術
- (2) 地域社会から世界レベルまで様々なレベルでの食に関する課題発見力
- (3) 食に関する課題解決の実践力
- (4) 課題解決法の世界への発信力

【入学者に求める能力は何か】

食産業学群では、次のような意欲・資質を併せ持つ学生を求めています。

- (1) 食及び食を取り巻く環境に興味を持ち、自然科学の基礎知識を身につけている人
 - (2) 論理的に考える力を修得し、食の安全・安心、環境との調和などの課題解決に取り組みたい人
 - (3) 地域社会の一員として、さらには世界的な観点から食産業を考え、その発展に貢献しようとする人
- 加えて、各学類では、次のような意欲・資質を併せ持つ学生を求めています。

<生物生産学類>

生物資源開発や生産環境技術、経営を通して、持続的な食料生産とその供給に強い関心を持ち、食産業の幅広い専門的知識と技術を身につけ、社会に貢献しようとする人

<フードマネジメント学類>

食の製造・加工から流通・消費に至る食産業のプロセスについて、サイエンスとビジネスの両面において知識や技術を身につけ、社会に貢献しようとする人

【高等学校段階までに培ってきたどのような能力をどのように評価するのか】

食産業学群の選抜試験では、以下の評価を行います。

- (1) 一般選抜では、大学入学共通テストの6教科8科目以上で高等学校までの学習成果を問うほか、個別学力検査の外国語、数学、理科の試験により、志望分野に必要な学力や資質を評価します。また、活動実績報告書により主体性等を評価します。
- (2) 学校推薦型選抜では、大学入学共通テストの6教科7科目以上で高等学校までの学習成果を問うほか、調査書、推薦書、自己申告書等の出願書類、面接（※3）によって、志望する学群での学修に対する意欲、資質などを評価します。
- (3) 総合型選抜では、調査書、自己申告書等の出願書類、レクチャー①・レクチャーレポートによる第1次選考、レクチャー②・グループワーク・ふりかえりレポート、面接（口頭試問を含む。）（※4）による第2次選考によって、高等学校までの学習成果や課題発見・解決能力、志望する学類での学修に対する意欲、資質などを評価します。
- (4) 帰国生徒選抜、社会人選抜、私費外国人留学生入試では、出願書類（本学が指定する英語の外部検定試験の公式スコアを含む。）及び面接により、学力、意欲、資質などを評価します。私費外国人留学生入試では、これに加えて日本留学試験により志望分野に必要な学力を評価します。

-
- ※1 論説では、記述式の試験により、事象を論理的に考察する力や資料をもとに科学的に読み解く力等を多角的に評価します。
- ※2 看護学群一般選抜の面接では、看護職を志す意欲、看護職の基礎的な適性である人に対する態度や社会性、コミュニケーション能力などを評価します。
- ※3 学校推薦型選抜の面接では、主に以下の能力を評価します。
- ・高等学校等での学びの実践に基づく、学群での学修に対する強い意欲や高い資質
- ※4 総合型選抜の面接（口頭試問を含む。）では、主に以下の能力を評価します。
- ・高等学校までの基礎的な学習成果
 - ・高等学校等での学びの実践に基づく、学類での学修に対する強い意欲や高い資質

2 学類配属について

学校推薦型選抜は、学群単位で行います。学群単位の入試を経て入学する場合は、入学した時点では学類は決まっておらず、2年次に進級する際に、自身の希望や成績などを考慮して学類の配属を決定します。学類配属の流れについては、大学案内パンフレット2025等をご覧ください。なお、看護学群は単一学類のため、全員が看護学類で学ぶこととなります。

3 学校推薦型選抜の概要

本学のアドミッション・ポリシーに基づき、高等学校等での学びの実践に基づく、学群での学習に対する強い意欲や高い資質を評価するため、以下のとおり「学校推薦型選抜」として募集します。

STEP 1	出願書類作成	令和6年10月～
STEP 2	インターネット出願登録	令和6年12月10日（火） ～令和6年12月24日（火）【午後5時まで】
STEP 3	出願書類提出	令和6年12月17日（火） ～令和6年12月24日（火）【期間内必着】
STEP 4	大学入学共通テスト	令和7年1月17日（土）及び18日（日）
STEP 5	選抜期日	令和7年2月2日（日）
STEP 6	合格発表日	令和7年2月12日（水）
STEP 7	入学手続	令和7年2月13日（木） ～令和7年2月19日（水）【期間内必着】

4 入学定員と募集人員

		入学 定員	募 集 人 員						
			学群単位				学類単位		
			一般選抜		学校 推薦型 選抜	帰国生徒 選抜※	社会人 選抜※	総合型 選抜	私費外国 人留学生 入試
			前期 日程	後期 日程					
看護学群	看護学類	95人	48人	10人	24人	若干名	若干名	8人	5人
事業構想 学群	事業プランニング学類	200人	100人	20人	40人	若干名	若干名	8人	5人
	地域創生学類							8人	5人
	価値創造デザイン学類							8人	6人
食産業 学群	生物生産学類	125人	62人	12人	28人	若干名	若干名	8人	3人
	フードマネジメント学類							8人	4人
計		420人	210人	42人	92人	若干名	若干名	48人	28人

※「帰国生徒選抜」「社会人選抜」の若干名は、「一般選抜」の募集人員に含みます。

5 出願資格

令和7年度大学入学共通テストのうち指定する教科・科目（本要項「8 試験日時・選抜方法等」を参照）をすべて受験し、次の（1）から（4）までのすべてに該当する方とします。

- (1) 高等学校（特別支援学校高等部を含む。以下同じ。）又は中等教育学校を令和7年3月に卒業見込みの方
- (2) 志望する学群に対し、熱意と適性を有する方で、高等学校又は中等教育学校の長が責任を持って推薦できる方
- (3) 合格した場合には、必ず入学することを確約できる方
- (4) 調査書の全体の評定平均値が4.0以上の方で、人物、学力とも特に優秀である方

6 推薦人数

(1) 看護学群

推薦できる人数は、宮城県内の高等学校又は中等教育学校からは1校あたり2人まで、宮城県外の高等学校又は中等教育学校からは1校あたり1人とします。

ただし、衛生看護科又は看護科を有する学校については、宮城県内の高等学校又は中等教育学校の場合、当該科から2人まで、その他の科から2人までの計4人まで、宮城県外の高等学校又は中等教育学校の場合、当該科から1人、その他の科から1人の計2人までを各々推薦できるものとします。

また、高等学校の廃止（分校の廃止を除く。）に伴い、当該廃止した高等学校の生徒のすべてを一つの学校が受け入れる新設等があった場合、当該学校が推薦できる人数は、新設等の前日において当該廃止した高等学校の生徒であった方に限り、当該廃止した高等学校ごとに、宮城県内の高等学校又は中等教育学校については2人まで、宮城県外の高等学校又は中等教育学校については1人まで加えることができるものとします。

この場合にあっても、当該廃止した高等学校が衛生看護科又は看護科を有する場合、宮城県内の高等学校又は中等教育学校については当該科から2人まで、その他の科から2人までの計4人まで、宮城県外の高等学校又は中等教育学校については当該科から1人、その他の科から1人の計2人までを各々推薦できるものとします。

(2) 事業構想学群・食産業学群

推薦できる人数は、宮城県内の高等学校又は中等教育学校からは1校あたり各学群4人まで、宮城県外の高等学校又は中等教育学校からは1校あたり各学群2人までとします。

また、高等学校の廃止（分校の廃止を除く。）に伴い、当該廃止した高等学校の生徒のすべてを一つの学校が受け入れる新設等があった場合、当該学校が推薦できる人数は、新設等の前日において当該廃止した高等学校の生徒であった方に限り、当該廃止した高等学校ごとに、宮城県内の高等学校又は中等教育学校については各学群4人まで、宮城県外の高等学校又は中等教育学校については各学群2人まで加えることができるものとします。

7 出願手続

(1) 出願手順・方法

出願手続の手順・方法は以下のとおりです。

手順		方法
手順1	事前準備	出願手続を始める前に、「(5) 事前準備」をよく読んで出願の準備をすすめてください。
手順2	インターネット出願登録	パソコン等で本学ウェブサイトからインターネット出願サイトにアクセスして必要な情報を入力、登録してください。
手順3	自己申告書の登録（入力）	インターネット出願サイトから専用サイト(J-Bridge System)にアクセスし、所定の項目を登録（入力）してください。

手順		方法
手順 4	入学者選抜手数料の支払い	インターネット出願サイトの指示に従って、入学者選抜手数料を支払ってください。
手順 5	必要書類の印刷	インターネット出願サイト等から必要書類等を印刷し、入学願書に大学入学共通テスト成績請求票を貼付してください。
手順 6	必要書類の送付	インターネット出願サイト等から印刷した必要書類と、他の全ての必要書類を本学に送付してください。
手順 7	受験票の印刷	出願書類が受理された方は、令和 7 年 1 月 2 4 日（金）の午後 1 時頃にインターネット出願サイトから受験票が印刷できるようになります。受験票は志願者各自がカラー印刷して、試験当日に持参してください。

（2）出願期間

出願に必要な書類の提出は、簡易書留速達郵便による郵送とし、期間内に到着したものに限り受理します。期限後に到着したものは受理しませんので、郵便事情等を十分考慮の上、余裕を持って発送してください。郵送では間に合わないなど、真にやむを得ない事情がある場合には、事前に下記（3）問い合わせ先等（入試に関する問い合わせ先）に相談の上、期間中の 9 時から 1 7 時まで（土・日曜日及び国民の祝日は除く。）の間に持参してください。

インターネット出願の登録期間及び 入学者選抜手数料支払期間	出願に必要な書類の提出期間
令和 6 年 1 2 月 1 0 日（火） ～ 令和 6 年 1 2 月 2 4 日（火）午後 5 時まで	令和 6 年 1 2 月 1 7 日（火） ～ 令和 6 年 1 2 月 2 4 日（火）【期間内必着】

（3）問い合わせ先等

やむを得ない場合を除き、志願者本人が問い合わせてください。

○インターネット出願サイトの操作方法・入学者選抜手数料支払い方法に関する問い合わせ先

株式会社キャリアタス「学び・教育」出願・申込サービス サポートセンター

TEL：0120-202-079（日本国内のみ 24 時間対応）

○入試に関する問い合わせ先／出願書類提出先

宮城大学アドミッションセンター

〒981-3298 宮城県黒川郡大和町学苑 1 番地 1 TEL：022-377-8333（平日 9:00～17:00 まで）

（4）入学者選抜手数料について

入学者選抜手数料は 1 7, 0 0 0 円 です。インターネット出願サイトの支払方法に従いお支払いください。なお、入学者選抜手数料の支払いには、別途手数料がかかります。手数料は支払人負担となります。手数料の金額は、支払手続画面に表示されます。

（5）事前準備

インターネット出願する前に必ず確認してください。また、本学の「インターネット出願サイト」内の「事前準備」も併せて確認してください。

パソコン等の準備	インターネット出願は、以下の環境で行ってください。 <ブラウザ> ・ Microsoft Edge 最新版 ・ Google Chrome 最新版 ・ Mozilla Firefox 最新版 ・ Apple Safari 最新版 ※ ブラウザのタブ機能を使用して複数のタブで同時に申込操作を行うと、選択した内容が他のタブに引き継がれてしまう等の不具合が発生する場合があります。複数タブで同時申込操作はしないでください。
----------	---

	<スマートフォン・タブレット利用時推奨ブラウザ> ・iOS 12 以上 ・Android OS 8 以上 ・iPadOS 13 以上 ※ 各 OS の標準ブラウザが推奨環境となります。 ※ 使用しているブラウザで表示が崩れることがある場合は、他のブラウザで確認してください。 ※ Android のスマートフォンからの操作で Chrome の PC 版からは PDF の表示ができない場合があるので、モバイル版を使用してください。
メールアドレスの用意 及びメールの設定	出願にはメールアドレスが必要となりますので、事前にメールアドレスを用意してください。スマートフォン、携帯電話等のメールアドレスも利用可能です。なお、ドメイン指定受信を設定されている方は、次のドメインからのメールを受信できるように設定を追加してください。 @e-apply.jp 出願時に登録したメールアドレスに、以下の 4 回メールが送信されます。 ①インターネット出願登録入力中のテストメール ②出願登録情報の入力完了時の自動送信メール ③入学者選抜手数料支払完了時の自動送信メール ④受験票が取得・印刷可能になった際の通知メール ※試験が終了するまで、メールアドレスは変更しないでください。
志願者本人写真（データ）の用意	インターネット出願登録にあたって、顔写真データ（ファイル形式「jpeg、jpg、png、bmp」かつ、最大 10MB まで）が必要です。写真は本人確認に利用しますので、出願前 3 か月以内に撮影した正面、上半身、脱帽、背景なしのカラー写真データを用意してください。 【使用できない写真の例】 不鮮明、背景が暗い、顔が横向き、化粧や前髪が目にかかるなどで本人確認が困難、複数人で写っている、画像に加工を施している、現像された写真を再撮影しているもの等。
その他必要書類の用意	高等学校等が発行する「調査書」等、インターネット出願サイトから印刷する様式以外の紙媒体の書類を、出願期間に間に合うようにあらかじめ用意してください。
角形 2 号封筒の用意	必要書類提出のために、市販の角形 2 号封筒（24cm×33.2cm）を用意してください。
様式印刷の用意 （プリンター、用紙等）	インターネット出願サイトから出力する様式類は、A 4 サイズ普通紙にカラー印刷する必要がありますので、カラープリンター及び印刷用紙（普通紙、P P C 用紙、O A 共通用紙、コピー用紙等）を用意してください。印刷条件に適合していれば、公共施設やコンビニエンスストアの印刷サービスを利用して印刷しても構いません（個人情報の取り扱いには十分注意してください）。

（6）インターネット出願登録時の誤登録

インターネット出願登録の際は、登録内容に誤りが無いよう確認しながら、慎重に操作を進めてください。それでも誤った情報を入力・登録してしまった場合は、下記のとおり対応してください。

入学者選抜手数料の支払い前 に誤りに気付いた場合	・ 始めから申し込みをやり直してください。新たに【受付番号（12桁の番号）】が通知されるので、新しい受付番号で入学者選抜手数料をお支払いください。誤って登録した受付番号の出願内容は、期限までに入学者選抜手数料の支払いが無ければ自動的に削除されます。 ・ 大学へ郵送する書類は、必ず新しい受付番号で印刷した書類を提出してください。 ・ J-Bridge System による自己申告書は、新しい受付番号でシステム連携のうえ提出してください。誤って登録した受付番号で提出済の場合であっても、新しい受付番号で再度提出してください。
--	--

入学者選抜手数料を支払った後に誤りに気付いた場合	・ 出願者側での修正登録や申し込みのやり直しはできません。誤って入力した項目により、下記①・②のとおり対応が異なります。 ① 「志望学群」の項目に誤りがあった場合 出願書類等送付前に下記（イ）～（ニ）のとおり対応してください。 赤字訂正による出願は受理しません。 （イ） アドミッションセンター宛てにメールで修正を依頼してください。メールには【受付番号】、【出願者氏名】、【登録時のメールアドレス】、【修正の内容】を記載してください。 【宮城大学アドミッションセンター】 E-Mail：nyushi@myu.ac.jp （ロ） 大学側で登録内容を修正します。修正完了後、メールにてお知らせしますので、登録内容が修正されているか確認してください。 （ハ） 修正完了メールを受信した後、出願書類を出力し、正しく修正されているかを確認してください。 （ニ） 確認後は、出願期間内に書類等を郵送してください。 ② 上記①以外の項目に誤りがあった場合 郵送にて書類を受け取った後に、大学側でデータを訂正します。 書類を印刷した後、<u>誤入力部分を二重線（赤）で消して、正しい内容を赤字にて記入の上、郵送してください。</u>その際、大学側で訂正が必要な項目があることが識別できるよう、<u>任意の付箋紙を立てて郵送してください。</u>
--	--

（７）出願書類

出願に際して提出する必要書類は、下表のとおりです。

出願書類等	摘 要
入学願書	・ インターネット出願サイトから「出願登録」および「入学者選抜手数料の支払い」完了後に A4 サイズでカラー印刷してください。併せて、「大学入学共通テスト成績請求票^{推薦}用」を必ず所定の欄に貼り付けてください。 ・ 令和 7 年度大学入学共通テストの受験案内 3 4 ページには、1 2 月 1 6 日までには受験票が送付されると明記されています。出願締切日の間近までに届かない場合は、宮城大学アドミッションセンターまでご連絡ください。
自己申告書	・ 「J-Bridge System」にアクセスし、所定の項目を入力し登録してください。 ・ 登録(入力)方法の詳細は「（８） 出願手続の自己申告書の登録」及び宮城大学ウェブサイトに掲載されている「J-Bridge System 受験生操作説明」（動画、下記 URL）を参照してください。（http://www.myu.ac.jp/admission/colleges/guidelines/） ・ 自己申告書は<u>印刷して大学に送付する必要はありません。</u> ・ <u>出願申込を複数回行った場合は、入学願書に記載された受付番号(バーコード下の 12 桁)でシステム連携のうえ提出してください。その他の受付番号にて登録したものは受付できません。</u>
推薦書	・ 本学ウェブサイト（https://www.myu.ac.jp/admissions/colleges/guidelines/）から様式をダウンロードし、作成したものを A4 サイズで印刷してください。 ・ 高等学校又は中等教育学校の長が記入し、厳封したものを提出してください。
出願書類提出用宛名シート	・ インターネット出願サイトから「出願登録」及び「入学者選抜手数料の支払い」完了後に A4 サイズでカラー印刷してください（入学願書を印刷すると、同時に印刷されます。）。 ・ 任意の角形 2 号封筒の表面に、剥がれないように全面のり付けで貼付してください。提出書類のチェック欄にチェックを記して、必要書類を漏れなく封入したことを確認してください。

出願書類等	摘 要
調査書	・ 文部科学省所定の様式により学校長が作成し、厳封したものを提出してください。
出願書類提出用 角形 2 号封筒	・ 市販の角形 2 号封筒（24cm×33.2cm）を各自で用意し、出願に必要な書類をすべて封入し、「出願書類提出用宛名シート」を貼付して郵送、提出してください。

（８）出願手続の自己申告書の登録

- ・ 出願書類の自己申告書はインターネット出願システムと連携した専用サイト「J-Bridge System」（電子申請システム）にアクセスし、入力・登録してください。インターネット出願画面にて出願登録を行った後、**J-Bridge System 連携を行う**ボタンをクリックし、「J-Bridge System」にログインして登録を行います。登録するに当たり「J-Bridge System」の会員登録が必要となります。
- ・ 登録手順の詳細は、宮城大学ウェブサイトに掲載されている「J-Bridge System 受験生操作説明」（<https://www.myu.ac.jp/admissions/colleges/guidelines/>）を参照してください。なお、この登録は入学選抜手数料支払後に行うことも可能です。
- ・ 自己申告書の内容を入力後、**提出する**ボタンをクリックすると申請登録が完了となります。申請登録が完了すると入力・修正・削除ができなくなりますので、注意してください。
- ・ 「J-Bridge System」に登録がない場合は採点の対象になりません。必ず、インターネット出願システムでの出願登録後に「J-Bridge System」への登録も行ってください。
- ・ 自己申告書の登録期間は令和 6 年 1 2 月 1 0 日（火）から令和 6 年 1 2 月 2 4 日（火）までです。

【自己申告書 入力項目】

- ① あなたが高等学校・中等教育学校で行った次の活動を通じ、どのようなことを得たか、その実践の過程を根拠に示しながら、それぞれ指定の文字数以内で記載してください。
 - ・ 各教科等の学習（総合的な探究の時間を含む。）を 250 字以内
 - ・ ホームルーム活動、生徒会活動及び学校行事を 250 字以内
 - ・ 上記以外の活動を 250 字以内
- ② この学群を志願した理由について 250 字以内で記載してください。
- ③ 大学に入学した後で、この学群でどのように学んでいきたいかを 250 字以内で記載してください。

（９）出願上の注意事項

- ① **出願は、インターネット出願サイトからの登録だけでは出願手続完了にはなりません。**入学選抜手数料を支払期間内に支払い、出願に必要な書類を提出期間内に簡易書留速達郵便で本学に送付する必要があります。また、J-Bridge System による自己申告書の登録も必ず完了する必要があります。
- ② インターネット出願では、入学選抜手数料支払時、必要書類印刷時、受験票印刷時等に、インターネット出願サイトへのログインが必要になります。インターネット出願サイトからログイン画面にアクセスし、画面の指示に従いログインしてください。
- ③ ご家庭にインターネット利用や印刷の環境が無い場合は、学校に相談しパソコン等を利用したり、公共図書館のインターネットサービスを利用する等の対応により、出願してください。インターネット出願の利用が難しい場合は、令和 6 年 1 2 月 1 7 日（火）までに、「**（３）問い合わせ先等**」に記載の、入試に関する問い合わせ先まで相談してください。
- ④ 出願書類に不足がある場合は受理できませんので、出願の際には十分に内容を確認してください。書類に不備がある場合は、期限を定めて補正又は追加提出を指示しますが、期限内に補正又は追加提出がない場合は受理できません。なお、外国の学校への留学等により、調査書の各科目、教科の評定が記載されない場合等については、別途資料の提出をお願いすることがあります。
- ⑤ 出願後は、出願登録事項及び出願書類の変更は認めませんが、氏名、住所、電話番号に変更があった場合は、速やかに宮城大学アドミッションセンターまで連絡してください。

- ⑥ 学校推薦型選抜の出願にあたっては、「令和7年度大学入学共通テスト」のうち、本学の各学群が指定する教科・科目（本要項「**8 試験日時・選抜方法等**」を参照）を受験する必要があります。内容を十分に確認してください。
- ⑦ 出願登録及び出願書類の内容と相違する事実が判明した場合は、受験を許可しないことがあります。また、合格発表後又は入学後であっても、合格又は入学を取り消すことがあります。
- ⑧ 国公立大学の学校推薦型選抜への出願は、一つの大学・学部に限られています。
- ⑨ 本学の一般選抜試験と併願することができます。一般選抜試験の出願にあたっては、「令和7年度大学入学共通テスト」のうち、一般選抜試験において、本学の各学群が指定する教科・科目を受験する必要があります。
- ⑩ 一度受理した出願書類及び入学者選抜手数料は返還しません。出願受付後に大学入学共通テスト受験科目の不足等により、出願資格を満たさない者であることが判明した場合も同様の扱いとなります。
- (10) 受験票の印刷

受験票は、出願期間後にインターネット出願サイトから印刷できるようになります。出願時に登録したメールアドレスに、受験票の印刷ができるようになったことをお知らせしますが、プロバイダによりメールが届かない場合でも、令和7年1月24日（金）午後1時頃に、インターネット出願サイトにログインしてカラー印刷し、切り取り線に沿ってはさみ等で切り、試験当日に持参してください。

8 試験日時・選抜方法等

- (1) 試験日 **令和7年2月2日（日）**
- (2) 試験会場 **宮城大学大和キャンパス 宮城県黒川郡大和町学苑1番地1**
太白キャンパスでは試験を実施しませんので、間違いのないようご注意ください。
- (3) 選抜方法

令和7年度大学入学共通テストにおいて、以下に指定する教科・科目をすべて受験した方で学群毎に大学入学共通テストの合計点、調査書、推薦書、自己申告書等の出願書類の内容及び面接の成績を総合的に判定して行います。

イ 大学入学共通テストの利用教科・科目

教科	国語	地理歴史・公民	理科	数学	外国語	情報	合計
配点	200	100 [※ 1]	100 [※ 2]	200	250 [※ 3]	100	950
国 語：『国語』必須 地理歴史・公民：『地理総合／歴史総合／公共』において2出題範囲を選択 又は『地理総合、地理探究』『歴史総合、日本史探究』『歴史総合、世界史探究』 『公共、倫理』『公共、政治・経済』から1科目を選択 理 科：『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』において2出題範囲を選択 又は『物理』『化学』『生物』『地学』から1科目を選択 数 学：『数学Ⅰ、数学A』必須 『数学Ⅱ、数学B、数学C』必須 [※ 4] 外国語：『英語（リスニングを含む。）』必須 情 報：『情報Ⅰ』必須							

[※ 1] 地理歴史・公民において、『地理総合／歴史総合／公共』は、選択した2つの出題範囲の合計点を1科目の得点とみなします。地理歴史・公民を2科目（『地理総合／歴史総合／公共』（3つの出題範囲から2つを選択解答）と、『地理総合／歴史総合／公共』で選択解答したものと同一名称を含まない1科目を受験した場合を含む。）受験した場合は、高い方の得点を用います。

[※ 2] 理科において、『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』は、選択した2つの出題範囲の合計点を1科目の得点とみなします。理科を2科目（『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』（4

つの出題範囲から2つを選択解答)』と、基礎を付さない1科目を受験した場合を含む。)受験した場合は、高い方の得点を用います。

[※ 3] リーディングとリスニングの配点比率を4:1とします。なお、受験上の配慮によるリスニング免除者は、リーディングのみの得点を換算します。

[※ 4] 「数学 B」及び「数学 C」については、数列(数学B)、統計的な推測(数学B)、ベクトル(数学C)及び平面上の曲線と複素数平面(数学C)の4項目のうち3項目の内容の問題を選択解答してください

□ 試験時間

入試科目	内 容
面接(15分)	高等学校等での学びの実践に基づく、志望する学群への強い意欲や高い資質を問う面接を受けます。

(4) 旧教育課程履修者等に対する経過措置

旧教育課程履修者等に対する経過措置について、次のとおり取り扱います。なお、旧教育課程履修者等とは、令和5年7月21日付けで独立行政法人大学入試センターから公表の「令和7年度大学入学者選抜に係る大学入学共通テストの出題教科・科目の出題方法等」別表3によります。

① 地理歴史・公民[※]

地理歴史の経過措置科目『旧世界史A』、『旧世界史B』、『旧日本史A』、『旧日本史B』、『旧地理A』、『旧地理B』、公民の経過措置科目『旧現代社会』、『旧倫理』、『旧政治・経済』、『旧倫理,旧政治・経済』の選択を可とします。

[※] 新教育課程による出題科目と経過措置科目を組み合わせることはできません。

② 数学

数学の経過措置科目『旧数学Ⅰ』、『旧数学Ⅰ・旧数学A』、『旧数学Ⅱ』、『旧数学Ⅱ・旧数学B』、『旧簿記・会計』、『旧情報関係基礎』の選択を可とします。

③ 情報

情報の経過措置科目『旧情報』の選択を可とします。

(5) 受験上の注意

① 受験者は、指定された時刻までに面接控室に入室し、着席してください。面接試験開始時に不在の場合は、欠席者として取り扱います。

② 試験当日は、本学の受験票及び大学入学共通テストの受験票を持参してください。当日、受験票を忘れた方は、仮受験票の交付を行いますので、受付に申し出てください。

③ 面接試験は、公正な試験を維持するため、録音します。

④ 本学の受験票及び大学入学共通テストの受験票は入学手続の際にも必要になりますので、試験終了後も大切に保管してください。

⑤ 試験当日は学内の食堂及び売店は営業していません。

⑥ 試験会場へは、公共交通機関の利用のほか、自家用車による送迎も可能です。

⑦ 事前に試験会場の下見はできますが、試験室を含む建物内への立ち入りはできません。

⑧ 試験会場の周辺で合格電報やレタックス等の受け付け、各種勧誘を行う者がいても、宮城大学とは一切関係がありません。トラブルが生じて責任を負えませんので、各自注意してください。

⑨ 学校推薦型選抜は、特別の事情がある場合を除き、受験を辞退することはできません。特別の事情があり、やむを得ず受験を辞退する場合は、当該志願者を推薦した高等学校又は中等教育学校の長からの「学校推薦型選抜受験辞退届」(任意様式:学群名、受験番号、住所、氏名、受験を辞退する理由を記載した上で、本人及び学校長が連署・押印したもの)を本学に提出してください。

⑩ その他の連絡事項については、インターネット出願サイトにて受験票印刷時にお知らせします。

(6) 感染症等に関する注意事項

試験当日に、学校保健安全法施行規則で出席停止が定められている感染症（インフルエンザ、麻しん、新型コロナウイルス感染症等）にかかり治癒していない者は、他の受験者や監督者等への感染のおそれがありますので、受験を認めません。ただし、病状により学校医その他の医師において感染のおそれがないと認められた者は、この限りではありません。

なお、本学では上記理由による追試験は行いませんので、受験者の皆さんは、試験当日に万全の体調で試験に臨めるよう感染予防・健康管理に十分ご留意願います。

9 合格発表

(1) 発表期日

令和7年2月12日（水）午後1時頃

(2) 発表方法

次の方法により発表します。その他の方法による合格者に関する問い合わせには、一切応じません

① 合格者に対して合格通知書を送付します。

また、生徒を推薦した学校の長に対しては、当該生徒の可否をお知らせします。

② 本学のウェブサイト（<https://www.myu.ac.jp/>）に合格者の受験番号を掲載します。

10 入学手続・初年度納付金等

(1) 入学手続期間

令和7年2月13日（木）～ 令和7年2月19日（水）（期間内必着）

(2) 入学金・初年度納付金等

種類		金額	納付時期等
（※1） 入学金	宮城県内の方（※2）	282,000 円	（1）で規定する入学手続期間内に、合格通知書とともに送付する入学金振込依頼書により最寄りの金融機関で納めてください。
	宮城県外の方	564,000 円	
授業料（年額）		535,800 円	5 月と 1 1 月の 2 回に分けて納めてください。
諸経費（実費負担）		・実習関連費用等は実費徴収します。 ・金額や項目は、入学年度や学群・研究科ごとに異なります。 ・詳細は、入学手続完了後にお送りする入学案内にてお知らせします(令和 7 年 3 月送付予定)。	
その他		上記のほか、一定の基準にあったノートパソコンを購入するなどして準備する必要があります。機器の仕様等の詳細については、入学を許可された方に別途通知します。	

※ 1 国の修学支援新制度に採用された方であっても、入学手続時においては、入学手続期間内に所定の入学金を一旦納付いただきます。納付いただいた入学金の還付手続については、別途ご案内します（本要項「11 授業料等の減免・奨学金等」を参照）。

※ 2 入学金の区分で「宮城県内の方」とは、次のいずれかに該当する方をいい、住所の有無は住民票の写し又は戸籍の附票の写し（以下「住民票等」といいます。）で確認します。

- ・入学許可の日（合格発表の日）前 1 年間引き続き宮城県内に住所を有する（住民登録されている）方
- ・入学許可の日（合格発表の日）前 1 年間引き続き宮城県内に配偶者又は 1 親等の直系尊属が住所を有する（住民登録されている）方

(3) 入学手続に必要な書類

提出書類等	摘要											
誓約書兼保証書	・様式は、合格通知書とともに送付します。 ・保証人とすることができる方は、父母若しくはこれに準ずる方又は成人で独立して生計を営む方で、かつ日本国内に居住している方となります。											
個人情報の取扱いに関する同意書	・様式は、合格通知書とともに送付します。											
入学金振込証明書 (大学提出用)	・入学金振込依頼書は合格通知とあわせて送付します。 ・入学金納付後に渡される納付書のうち、大学提出用を提出してください。											
本学受験票	手続完了後、返却します。											
大学入学共通テスト 受験票	手続完了後、返却します。											
住民票又は戸籍の附票の写し（以降、「住民票等」と記載） 【該当者のみ提出】	・次の表において、入学金の区分で「宮城県内の方」のどちらかに該当する場合、それぞれ右欄に記載する書類を提出してください（※1）。 ・住民票の写しは住民登録市町村、戸籍の附票の写しは本籍地市町村で、合格発表日以降に発行された原本を提出してください。											
	<table><tr><th colspan="2">入学金の区分</th><th>提出書類</th></tr><tr><td rowspan="2">宮城県内の方</td><td>入学許可の日（合格発表日）前1年間引き続き宮城県内に住所を有する方</td><td>合格者本人の住民票等（※2，※3）</td></tr><tr><td>入学許可の日（合格発表日）前1年間引き続き宮城県内に配偶者又は1親等の直系尊属が住所を有する方</td><td>次の書類（2つとも必要） ・合格者の配偶者又は一親等の直系尊属の方の住民票等（※2，※3） ・合格者との関係を証する書類（戸籍抄本等） </td></tr><tr><td colspan="2">宮城県外の方</td><td>なし</td></tr></table>	入学金の区分		提出書類	宮城県内の方	入学許可の日（合格発表日）前1年間引き続き宮城県内に住所を有する方	合格者本人の住民票等（※2，※3）	入学許可の日（合格発表日）前1年間引き続き宮城県内に配偶者又は1親等の直系尊属が住所を有する方	次の書類（2つとも必要） ・合格者の配偶者又は一親等の直系尊属の方の住民票等（※2，※3） ・合格者との関係を証する書類（戸籍抄本等）	宮城県外の方		なし
	入学金の区分		提出書類									
	宮城県内の方	入学許可の日（合格発表日）前1年間引き続き宮城県内に住所を有する方	合格者本人の住民票等（※2，※3）									
		入学許可の日（合格発表日）前1年間引き続き宮城県内に配偶者又は1親等の直系尊属が住所を有する方	次の書類（2つとも必要） ・合格者の配偶者又は一親等の直系尊属の方の住民票等（※2，※3） ・合格者との関係を証する書類（戸籍抄本等）									
宮城県外の方		なし										
※1 宮城県内にお住いの場合であっても、住民票等で宮城県への住民登録が確認できない場合は「宮城県外の方」の入学金の金額となります。												
※2 対象者が令和6年2月12日以降に県内市町村間で転入出されている場合の住民票の写しは、現在のものに加え、令和6年2月12日以降の県内在住が証明できるまでさかのぼって、前住民登録市区町村が発行する「消除された住民票の写し」を提出願います。												
※3 戸籍の附票の写しについては、本籍地の市区町村で電算化等の改製を最近行った場合でも、令和6年2月12日以降の住所（住定年月日を含む。）が確認できるものを提出願います。												
卒業証明書	入学許可は、高等学校又は中等教育学校を卒業することが条件となります。入学手続時には提出を要しませんが、 令和7年3月27日（木）までに卒業証明書を提出してください。											

(4) 入学手続

- ① 入学手続に必要な書類は、郵送又は直接持参により提出してください。
- ② 郵送する場合は必ず「簡易書留速達」により送付してください。入学手続期間内必着とします。入学手続期間を過ぎて到着したものは受理できませんので、郵送の場合には所要日数を十分に考慮して発送してください。
- ③ 直接持参する場合の受付時間は、午前9時から正午まで及び午後1時から午後5時までです。土曜日、日曜日及び国民の祝日は受け付けません。
- ④ いかなる理由があっても、入学手続期間中に必要書類の提出、受理がなされない場合は、入学手続未完了として扱い、合格者としての権利が消失します。入学手続に必要な書類に不足がある場合や書類に不備がある場合は受理できませんので、書類を提出する際には十分に内容を確認してください。また、保証人については、事前に必ずご調整ください。
- ⑤ 一度受理した入学手続書類及び入学金は、返還しません（過誤納の場合を除く。）。

(5) 入学手続先

〒981-3298 宮城県黒川郡大和町学苑1番地1

宮城大学 アドミッションセンター（大和キャンパス） TEL 022-377-8333

(6) 入学の辞退について

- ① 学校推薦型選抜は、特別の事情がある場合を除き、入学を辞退することはできません。特別の事情があり、やむを得ず入学を辞退する場合は、当該志願者を推薦した高等学校又は中等教育学校の長からの「学校推薦型選抜入学辞退願」（任意様式：学群名、受験番号、住所、氏名、入学を辞退する理由を記載した上で、本人及び学校長が連署・押印したもの）を、令和7年2月19日（水）までに本学に提出してください。本学から入学辞退を許可された場合を除き、他の国公立大学及び本学の学群の試験を受験しても、その合格者とはなりません。
- ② 令和7年4月1日以降は入学者として取り扱うため、退学手続をしてください。なお、別途、授業料を納付する必要があります。

11 授業料等の減免・奨学金等

【注意】

国の修学支援新制度、宮城大学の制度による授業料減免、日本学生支援機構の貸与奨学金は、高校等卒業後の経過年数や国籍等により利用できない場合があります。

詳細は各制度のウェブサイト等をご確認ください。

- ・修学支援新制度 <https://www.mext.go.jp/kyufu/index.htm>
- ・宮城大学の制度による授業料減免 <https://www.myu.ac.jp/campus/fees/Exemption/>
- ・日本学生支援機構の貸与奨学金 <https://www.jasso.go.jp/shogakukin/about/taiyo/index.html>

本学は、国が実施する高等教育の修学支援新制度の対象機関となっております。本制度は、認定された学生に対し、支援区分に応じて、日本学生支援機構の給付奨学金の支給と合わせて授業料及び入学金を減免する制度です（手続については下記（1）及び（2）に記載）。

(1) 国の修学支援新制度による日本学生支援機構給付奨学金

- ① 高校を通じて申込を済ませ（予約採用）、「予約採用候補者」の通知を受けた方は、入学後に「進学届」を日本学生支援機構に提出します。その手続の方法は大学事務局から案内します。
- ② 大学に入学してから、給付奨学金の申込ができます（在学採用）。大学事務局が開催する「在学採用説明会」で案内します。

【参考 令和6年度の支援区分及び日本学生支援機構給付奨学金（月額）】

給付奨学金の支援区分	給付月額 自宅通学	給付月額 自宅外通学
第Ⅰ区分	29,200 円	66,700 円
第Ⅱ区分	19,500 円	44,500 円
第Ⅲ区分	9,800 円	22,300 円
第Ⅳ区分	7,300 円	16,700 円

(2) 国の修学支援新制度による入学金・授業料減免

- ① 入学手続時においては、入学手続期間内に所定の入学金を一旦納付いただきます。
- ② 高校を通じて給付奨学金の申込を済ませ、「予約採用候補者」の通知を受けている方は、入学後の「減免申請」の手続（大学事務局から案内します。）により、入学金減免額を還付するとともに、授業料の減免を行います。（１）①の、「進学届」の日本学生支援機構への提出が必須条件です。
- ③ 大学入学後に給付奨学金を申し込んで採用された学生に対しても、授業料の減免を行います。ただし、入学金減免額の還付は、入学後すぐの５月～６月の申込期間に手続をした学生に限ります。（１）②の、入学後に開催する「在学採用説明会」で、申込書類の配付と詳しい説明を行います。
- ④ 令和７年度から、扶養する子ども３人以上の多子世帯への支援が拡充され、所得制限がなくなります。下表【参考】「第Ⅰ区分」と同額の入学金と授業料が減免されます。

【参考 令和6年度の支援区分及び入学金・授業料減免の上限額（年額）】

給付奨学金の支援区分	入学金減免額（※）	授業料減免額
第Ⅰ区分	282,000 円	535,800 円
第Ⅱ区分	188,000 円	357,200 円
第Ⅲ区分	94,000 円	178,600 円
第Ⅳ区分	70,500 円	134,000 円

※“宮城県内の方”も“宮城県外の方”も、入学金の減免額（還付額）は同じ金額です。

“宮城県外の方”の入学金は 564,000 円です。第Ⅰ区分及び多子世帯の方でも入学金減免額 282,000 円との差額、282,000 円は入学金として納付いただくことになります。

(3) 宮城大学の制度による授業料の減免等

- ① 授業料の減免
家庭の経済状況又は災害等のため、授業料の納入が著しく困難な学生で、学業成績等所定の基準を満たす方に対しては、授業料の減免の制度があります。
- ② 授業料の納付猶予・分割納付
経済的理由により、授業料の納付が著しく困難な学生で、学業成績等所定の基準を満たす者に対しては、授業料の減免や納付猶予・分割納付の制度があります。

(4) 日本学生支援機構の貸与奨学金

- ① 高校を通じて申込を済ませ（予約採用）、「予約採用候補者」の通知を受けた方は、入学後に「進学届」を日本学生支援機構に提出します。その手続の方法は大学事務局から案内します。
- ② 大学に入学してからも、貸与奨学金の申込ができます（在学採用）。大学事務局が開催する「在学採用説明会」で案内します。

【参考 令和6年度の日本学生支援機構貸与奨学金（月額）】

貸与奨学金の種類	貸与月額 自宅通学	貸与月額 自宅外通学
第一種奨学金（無利子）※	45,000 円（最高月額） 3 万円、2 万円	51,000 円（最高月額） 4 万円、3 万円、2 万円
第二種奨学金（有利子）	2 万円から 12 万円の間で、1 万円単位での選択 （自宅通学・自宅外通学の区別はありません。）	

※ 日本学生支援機構給付奨学金と併せて採用された場合、第一種奨学金の貸与額が減額調整されます。それを「併給調整」といい、貸与額が 0 円となることもあります。

(5) その他の奨学金

各種団体等の奨学金制度等、大学に案内が届いたものは、掲示等でお知らせします。

(6) 住居

宮城大学が設置する学生寮はありません。アパートに関して、取扱業者等の情報を宮城大学生協が提供しています。

12 特別の配慮を要する入学志願者の事前相談

本学では、障がい等を有する等、特別の配慮を要する方が、出願書類の作成に際し、又は受験上及び修学上不利になることがないよう、必要な配慮を行っており、そのための事前相談を受け付けています。

(1) 相談方法

- ・志願者本人又は保護者から、出願書類の作成に際し、又は受験上及び修学上配慮が必要な事項について相談してください。
- ・必要に応じて、志願者又はその立場を代弁しうる保護者や出身学校関係者等との面談等を行うこともあります。

(2) 事前相談期間 令和6年11月20日(水)まで

受験上の配慮については、対応に時間を要することもありますので、できるだけ早い時期に相談してください。なお、相談期限後に受験上及び修学上の配慮を必要とすることとなった場合にも、必ず下記

(3) の連絡先に問い合わせてください。

(3) 連絡先

〒981-3298

宮城県黒川郡大和町学苑1番地1

宮城大学 アドミッションセンター TEL: 022-377-8333 / FAX: 022-377-8282

13 試験成績の開示

学校推薦型選抜については、受験者の個人成績の開示はしません。

14 試験成績等の個人情報について

- (1) 入学者選抜試験実施に伴い、本学が保有した試験成績等を含む個人情報については、入学者選抜に関する業務のほか、入学前教育や入学後の教務・学生支援及び修学指導等の教育目的並びに授業料徴収、統計情報のとりまとめや調査・分析等の大学運営に資する業務に利用します。なお、統計情報や調査・分析結果の公表に際しては個人が特定できないよう処理を行います。また、各業務については、本学から業務委託を受けた業者（以下、受託業者という。）において実施することがあります。業務委託にあたっては、受託業者に対して、委託する業務を遂行するために必要となる限度で、個人情報の全部又は一部を提供することがあります。
- (2) 国公立大学の分離分割方式による合格及び追加合格決定業務を円滑に行うため、本学入学試験の合格者について、氏名、性別、生年月日、高等学校等コード及び大学入学共通テスト受験番号に限り、合格及び入学手続等に関する個人情報が、独立行政法人大学入試センター及び併願先の国公立大学に送達されます。

15 試験会場案内

宮城大学^{たいわ}大和キャンパス 宮城県黒川郡大和町学苑 1 番地 1 / 電話 022-377-8333

宮城大学には2つのキャンパスがあります。

^{たいはく}太白キャンパスでは試験を行いませんので、間違いのないよう、注意してください。

(1) 仙台駅発着路線バス（宮城交通バス）を利用する方法

JR 仙台駅西口のバスプール2番から、路線バス（宮城交通）「宮城大学・仙台総合医療大学校」行きに乗車してください。県庁市役所・泉アウトレットを経由する路線と上杉通・泉アウトレットを経由する路線のどちらも乗車可能です。所要時間約50分で「宮城大学・仙台総合医療大学校前」バス停留所に到着します。

(2) 仙台市地下鉄を利用する方法

JR 仙台駅からは地下1階の自由通路を通り、隣接する仙台市地下鉄仙台駅に向かい、地下鉄南北線「泉中央」行きに乗車してください。所要時間約15分で泉中央駅に到着します。泉中央駅で地下鉄を下り、以下のいずれかの方法で宮城大学に向かってください。

・路線バス（宮城交通）を利用する場合

東1出口からバスプール3番に向かい、「泉パークタウン」行き（宮城大学経由）に乗車してください。宮城大学を経由しない路線もあるためご注意ください。桂・高森地区経由で所要時間約30分、アウトレット・JCHO 病院地区経由で所要時間約35分です。「宮城大学・仙台総合医療大学校前」バス停留所で降車してください。

・タクシーを利用する場合

泉中央駅の駅舎2階北側にタクシープールがあります。宮城大学にはキャンパスが2つあり、仙台市内には「みやぎ台」地区もあるため、タクシーの運転手には「泉パークタウン隣の宮城大学」とはっきり伝えてください。泉中央駅から宮城大学までの所要時間は約20分です。

